

# 難波宮発掘開始 70 周年記念講演会 「難波宮研究の現在地」



開会挨拶 中尾芳治（元帝塚山学院大学教授）

## 「前期難波宮と飛鳥宮、藤原宮の内裏」

積山 洋（大阪市文化財協会）

13時40分～14時40分

## 「後期難波宮大極殿と平城宮大極殿」

李 陽浩（大阪歴史博物館）

14時50分～15時50分

## 「難波宮・京の調査研究および保存活用 の現状と課題」

田中裕子（大阪市教育委員会）

15時50分～16時50分



日時：2024年2月17日（土） 13時30分～16時50分  
（開場：13時）

場所：大阪歴史博物館 4階講堂  
大阪府中央区大手前4-1-32

定員：250名（先着順）

聴講料：無料

主催：（一財）大阪市文化財協会

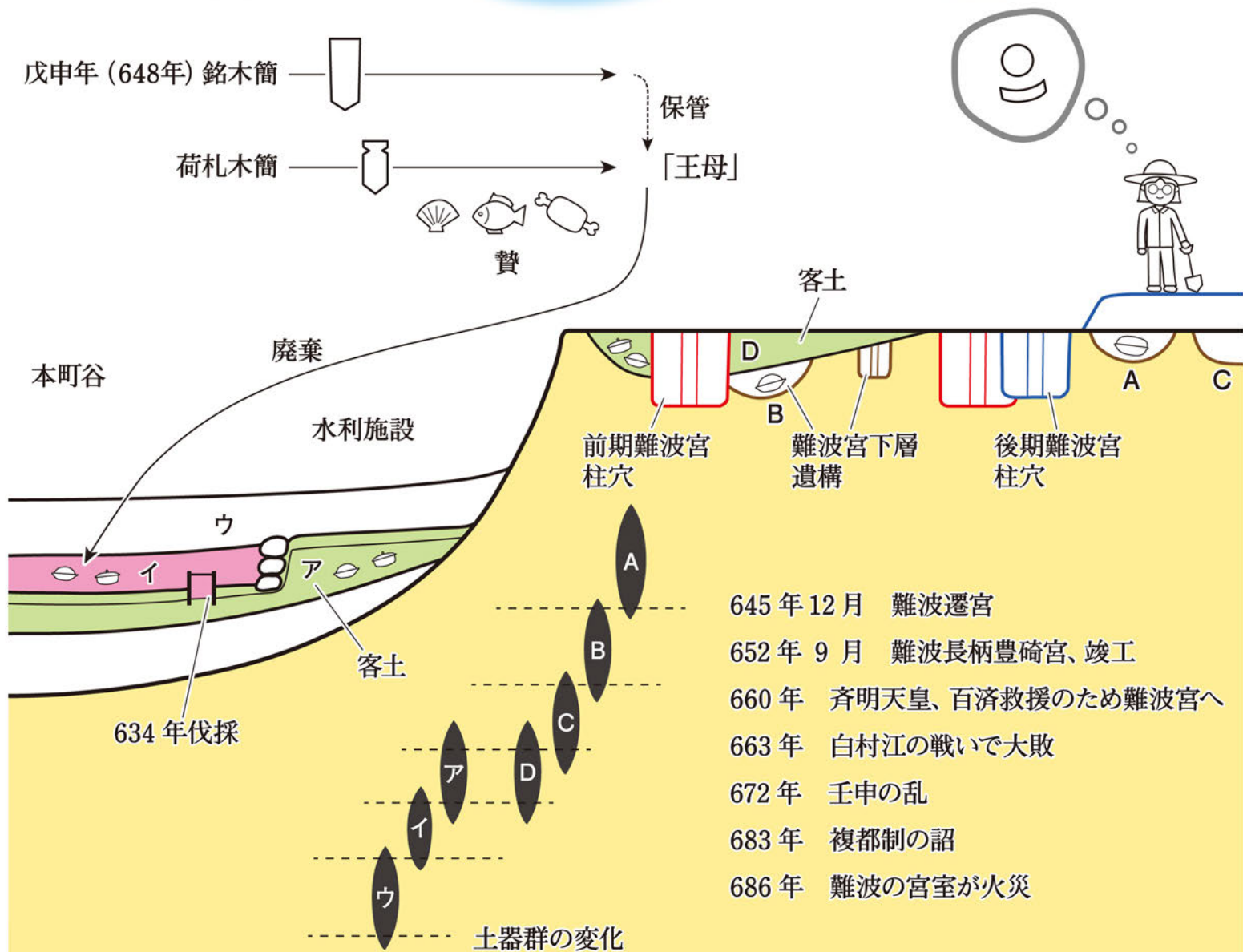
共催：大阪歴史博物館

お問合せ：（一財）大阪市文化財協会 TEL06-6943-6833

昭和29(1954)年2月20日、山根徳太郎博士によって難波宮跡の第1次発掘調査が始まりました。2024年2月は、ちょうど難波宮跡の発掘調査が開始されて70年に当たります。この間、難波宮・京跡の発掘調査とそれに基づく研究は、日本の国家形成史や大阪の歴史などの解明に大きく貢献することになる、さまざまな成果を挙げてきました。これを機に、近年の調査・研究などでとくにたいせつと思われるテーマを対象に、その到達点と課題について、市民の方々に気軽にご参加いただける講演会を開催する運びとなりました。

皆様のご参加をお待ちしております。

なお2024年2月は、大阪市文化財協会の職員として長年、難波宮跡の調査・研究・保護に尽力されてきた八木久榮さんが亡くなられて丸3年に当たります。本講演会はその追悼の意を込めたものでもあります。



地層・遺構と土器群、木簡の関係